

# 起立性調節障害の JK監督率いる 学生映画チームが送る 奇跡の実話

## 今日も明日も 負け犬。

—— 起立性調節障害と紡いでいく ——

中学2年生の西山夏実は、素敵な先生や友達に恵まれ、順風満帆な学校生活を送っていた。しかし、ある日突然『起立性調節障害』という病気が彼女の体を襲う。遅刻、欠席が増え、教室に入ることができなくなった夏実は、保健室登校を始める。

病気を周りに理解されないことが、身体だけでなくいつのまにか夏実の心までも苦しめていたのである。そこで出会った 蒔田ひかる という少女が夏実の運命を左右することに。生気を失ったような彼女は、口を開くことも微笑むことも全くしない。

夏実はそんなひかるを見て、鏡を見ているような気分になっていた。夏実は〈ひかるを笑わせる〉という夢を抱き、保健室生活を二人で過ごす。ひかるは突如姿を消す。

果たして、夏実は病気を抱える体で夢を叶えることができるのか。

二人が紡いだ【奇跡の物語】が、あなたの心に寄り添う。



**5.26** 金  
**なかのZERO**  
小ホール  
**19:30** 上映開始  
[18:50 開場]

**Click Here!**

QRコード

入場 **無料**

事前登録制  
**【先着順】**

主演、原作、監督、脚本  
**全員高校生!?**



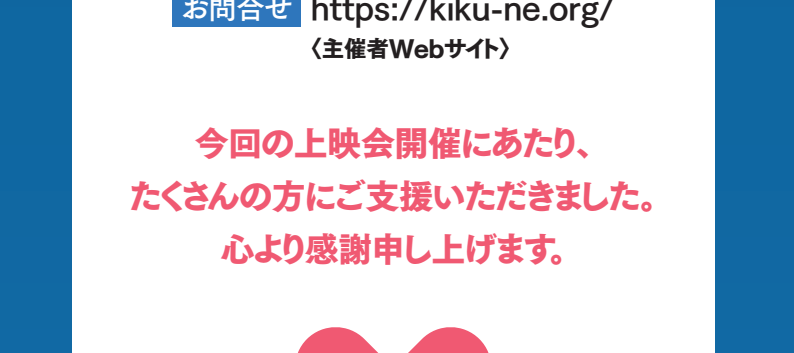
### 起立性調節障害の 女子高校生監督が 自身の壮大な過去を実写化

監督西山夏実の夢「自分の人生を映画化する」から全てが始まった。

「本書いてよ」西山（当時16歳）はクラスメイトの小田（当時16歳）に言った。緊急事態宣言下の3か月間、脚本の小田実里が映画の原作となる西山の人生を描いた本を執筆。本は即日完売。予想を上回る反響から映画化を決めた。

SNS で呼びかけ、監督、脚本、キャスト、スタイリスト、AD、メイキングなど、全てが学生の期間限定チームが結束された。映画の作り方すら誰も知らないそんな「大人立ち入り禁止の撮影現場」が生まれた。「コロナ禍」「学生」「初心者」「初対面」「闘病」様々な壁を乗り越え、1年かけて紡いだのが本映画である。

公式HPより



本上映会は、起立性調節障害の認知と理解への啓発活動や当事者・家族・学校・社会、それぞれの橋渡しとサポートを行う《Kiku-Ne》が協賛・協力団体のみなさまと共に企画・運営しています。

鑑賞をご希望の方は、下記よりお申し込みください。申し込みには、メールアドレスが必要です。

## 今日も明日も 負け犬。

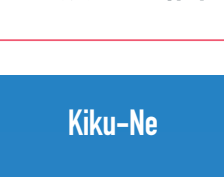
—— 起立性調節障害と紡いでいく ——

**5.26** 金 **19:30** 上映開始  
**なかのZERO** 小ホール  
**Click Here!**

事前登録申し込みフォーム **先着順**

- 主催 **Kiku-Ne**
- 後援 **中野区教育委員会**
- お問合せ <https://kiku-ne.org/>  
〈主催者Webサイト〉

**今回の上映会開催にあたり、  
たくさんの方にご支援いただきました。  
心より感謝申し上げます。**



**FAMILY CHIROPRACTIC**  
**ファミリーカイロプラクティック三鷹院**

院長、副院長共に元当事者です。  
子ども時代のOD経験を活かして多くのODっ子を  
診ておりますので、本企画に協賛を決めました。

**日栄電設株式会社**

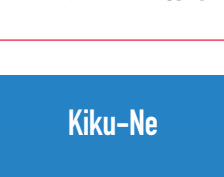
この映画が、起立性調節障害を知り  
周囲の理解に繋がるきっかけとなりますように  
また辛い状況にある皆様のお気持ちも、  
少しでも軽くなりますように

**OMAYU**  
ITの力で元気と笑顔をお届けする。しるまゆ。  
**しるまゆ**

**NPO 法人**  
**夢育支援ネットワーク**

**peeka boo**  
**NEWoMan 新宿**

**J-Naring**  
**J・Natural Carering**  
**ナチュラルケアセンター**



- 中野区社会福祉協議会**
  - 調布市社会福祉協議会**
  - 調布市社会福祉協議会**  
**ここあ**
  - NPO 法人**  
**羽ばたく会めじろ作業所**
-